

歌、演奏、盛りだくさんの舞台!!

●● 島ヶ原文化芸術まつり（演芸会） ●●

6月1日、島ヶ原文化芸術まつり（演芸会）が島ヶ原会館ふれあいホールで開催されました。

この文化芸術まつりは、島ヶ原文化サークル協議会に加入しているサークルの皆さんが日頃の練習の成果を発表する場として毎年この時期に行われています。

大正琴愛好会は「お江戸日本橋」「二人の銀座」などの曲を披露し、高音と低音の美しい音色が会場を包みました。大正琴愛好会が所属する琴修会伊賀支部が7月20日に東京で行われる全国大会に出場することもあり、皆さん心をこめて一生懸命演奏しました。



また、島ヶ原民謡愛好会は、小学生から高校生までが唄や三味線を披露しました。子ども達が元気に民謡を歌うと、会場からは手拍子が起こり、出演者と観客が一体になって情緒あふれる民謡を楽しみました。

その他に山草会の展示もあり、会員が丹精込めて育てた盆栽や山野草など約200点が展示されました。



この日は演芸会に出演した9サークルと山草会の皆さんが発表会を通じて交流を深めました。

災害時に心強い協力!!

● アマチュア無線応援協定調印式 ●

5月27日、市役所第3会議室で『災害時におけるアマチュア無線による応援に関する協定』の調印式が行われました。

伊賀広域防災アマチュア無線連絡協議会ほりかわの堀川会長は「各集落に1人はアマチュア無線をやっている人がいます。大きな災害時のアマチュア無線局の有効利用を考え、行政と密な関係を結びたい」と話しました。

また、今岡市長は「今後予想される東海地震をはじめ、伊賀地域で災害があった場合は、情報伝達などお互いに協力しましょう」と、堀川会長と固く握手を交わしました。



誰もが使いやすい施設を

● ユニバーサルデザイン調査事業報告 ●

6月5日、公共施設のユニバーサルデザイン調査を行った結果について、特定非営利活動法人ユニバーサルデザイン同夢代表の孫美知さんと一般参加されている方そんみちで伊賀市障害者福祉連盟会長の榎森吉三さんかしのりよしみから市長に報告がありました。だれもが暮らしやすい環境づくりをめざし、公共施設を利用する方にとって「わかりやすさ」「利用しやすさ」「心地よさ」の3つの視点で、各支所や地区市民センターなど48施設を調査しました。調査した施設の方から配置替えをするなど自分たちでできることからやろうという声を聞いて少しずつ改善に役立っていると話しました。





英会話でコミュニケーション!

●●● 中級英会話 チャットタイム ●●●

6月2日、伊賀市中央公民館講座で『中級英会話チャット・タイム』が開催されました。このチャット・タイムは国際交流員のサムが講師となり、参加者とさまざまな話題について英会話を楽しむ教室で、中級のほかにも初級・上級があります。

初めは、向かい合わせになって2人1組で英会話をしました。サムの「皆さん楽しんで行きましょう」のあいさつで始めると、参加者は身振り手振りで表現をして、時には片手に辞書や電子

辞書を持ち、単語を調べながら英会話に挑戦しました。この日は14人が参加し、いきいきとした表情で英会話を楽しみました。

初回からずっと参加をしているという女性は、「チャット・タイムはすごく楽しく、いろんな人と話ができるから刺激になります」と笑顔で話していました。

英語で話すって楽しいね!

● 親子英語サークル「アメリカンパイ」 ●

6月10日、親子英語サークル『アメリカンパイ』の今年度1回目の教室が、阿山保健福祉センターホールで行われました。

今年で4年目になる『アメリカンパイ』は1歳半以上のお子さんとその保護者を対象にしたサークルで、月1回、英語を使ったゲームなどで外国文化に触れています。参加者の口コミなどで年々参加者が増えていて、今年は56組の登録があり、今回はそのうちの約120人が参加しました。

英語でのあいさつ「ハロー」を練習し、アルファベットについても教わりました。先生がアルファベットを読み上げ、体でアルファベットの文字のポーズを取ると、子どもたちも一緒にまねていました。

「よかった。また来たい」という子どももいて、参加者は、英語に触れて楽しんだ様子でした。



ピッカピカの歯、いつまでも

●●● よい歯のコンクール ●●●

6月5日、歯の衛生週間（6月4日～10日）にあわせ、歯の健康や噛み合わせなどを審査するよい歯のコンクールが名張産業振興センターアスパアで行われました。このコンクールは、歯科衛生に関する正しい知識を知っていただき虫歯などの早期発見、早期治療などを目的として毎年開催されています。

このコンクールでは、「母と子のよい歯のコンクール」、「よい歯の児童生徒審査会」、「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の3つの審査が行われました。このうち、「母と子のよい歯のコンクール」は、平成19年4月1日から平成20年3月31日までに、3歳児歯科健診を受診した児童とその母親を対象として審査されました。

今年は、1397人の受診児童の中から伊賀市と名張市各5組が選出され、最優秀には、伊賀市内にお住まいの藤原恵さん、伊織くん親子が受賞されました。

最優秀を受賞された藤原さん親子は、第2次選出として6月26日に三重県歯科医師会で審査をうけます。

